

国際規制物資使用廃止措置報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

原子力規制委員会 殿

住 所 代表（本社）の住所

名 称 法人名

代表者氏名 代表者の役職名及び氏名

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第61条の9の3第2項の規定に基づき、国際規制物資の使用の廃止に伴う措置を、下記により報告します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日より廃止措置完了日（令和〇〇年〇〇月〇〇日）までの核燃料物質管理報告書

核燃料物質計量管理区域(MBA)の符号			
核燃料物質の区分		-	-
供給当事国		-	-
化合物又は混合物の名称		-	-

() 内は化合物又は混合物の重量を表わす。

事 項		数 量 [単位: g]		
①	期 首 在 庫	()	- (-)	- (-)
期 中 増 加	② 払出工場又は事業所名及びMBA符号・受入年月日	MBA : 令和 年 月 日 ()	MBA : - (-)	MBA : - (-)
	③ その他の増加	()	- (-)	- (-)
	④ 増加の計 (②+③)	()	- (-)	- (-)
期 中 減 少	⑤ 受入工場又は事業所名及びMBA符号・払出年月日	MBA : 令和 年 月 日 ()	MBA : - (-)	MBA : - (-)
	⑥ 消費・廃棄又は損失	()	- (-)	- (-)
	⑦ 事故損失	()	- (-)	- (-)
	⑧ その他の減少	()	- (-)	- (-)
	⑨ 減少の計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	()	- (-)	- (-)
⑩	期 末 在 庫	-	(-)	(-)

プルダウンリストから、天然ウラン、劣化ウラン、トリウムの中からいずれかを選択します。複数の核燃料物質を使用する場合は、セル毎に選択します。一種類目の場合は、空白のセルに-を記入します。

供給当事国は、国際規制物資使用許可申請書時に記載した国名を記載します。多くの場合、「その他」と記入しますが、昭和52年以前に許可を得た事業者については、国名を申請書に基づき記入します。

プルダウンリストから酢酸ウラニル、酢酸ウラニル亜鉛、硝酸ウラニル（六水塩）、硝酸ウラニル（四水塩）、塩化ウラニル、二酸化ウラン、三酸化ウラン、八酸化三ウラン、金属ウラン、硝酸トリウム（六水塩）、硝酸トリウム（四水塩）、酸化トリウム、金属トリウム、その他（ ）のいずれかを選択します。

許可を受けている全ての国際規制物資の種類について、在庫が全く無いことを示す必要があります。

廃止措置日以前に提出した核燃料物質管理報告書の報告対象期間以降の1月1日又は7月1日のいずれかの日より廃止措置日までの日付を記入します。廃止措置日前に核燃料物質を払出している場合、廃止措置日は廃止日と一致させます。

MBA符号は、国際規制物資の使用許可を得た際に、国から通知のあったMBA符号を記入します。

核燃料物質管理報告書にて記載がされていなかった廃液等がある場合、廃止措置報告書の提出にあたり、③の欄に計上し、⑤の欄にて払出した記載をしてください。